



授業科目

教育課程表・教育職員免許状について

授業科目教育課程表

○印必修

区分		授業科目	単位 数	必 選 の 別	週時間数				科目ナンバリング			
					1 年		2 年					
					前	後	前	後				
総合教養科目	技術英語演習Ⅰ		1		2				FL-511			
	技術英語演習Ⅱ		1		2				FL-512			
	英語プレゼンテーション技法		1		2	2			FL-513			
	エネルギー環境工学特論		2			2			LA-541			
	研究の作法		2		2				LA-542			
	インターンシップ		2		2	2			LA-543			
	環境保全技術特論		2						LA-544			
	国際技術経営特論		2						LA-545			
	技術と知的財産権		2			2			LA-546			
	Global Careers in Asia, Adv.		2			2			LA-547			
	アジア太平洋文化特論		2			2			LA-548			
	特別講義(教養Ⅰ)		2						LA-549			
	IoT for SDGs		2		2				LA-54A			
	Sustainable Cyber-Physical Systems		2		2				LA-54B			
総合基礎科目	偏微分方程式特論		2			2			SE-511	IT-511	AU-511	
	離散数学特論		2			2			SE-512	IT-512	AU-512	
	解析幾何学特論		2		2				SE-513	IT-513	AU-513	
	応用数値解析特論		2		2				SE-532	IT-532	AU-532	
	量子力学特論Ⅰ		2		2				SE-521	IT-521	AU-521	
	量子力学特論Ⅱ		2			2			SE-522	IT-522	AU-522	
	分析化学特論		2		2				SE-526	IT-526	AU-526	
	化学反応特論		2			2			SE-527	IT-527	AU-527	
	統計力学特論		2		2				SE-523	IT-523	AU-523	
	特別講義(基礎Ⅰ)		1			2			SE-533	IT-533	AU-533	
	特別講義(基礎Ⅱ)		1			2			SE-534	IT-534	AU-534	
機械専攻	専門基礎科目	機械工学基礎特論		2			2			MC-521		
		電子計測工学特論		2			2			MS-551		
	専門科目	材料力学特論		2		2				MC-522		
		機械材料学特論		2		2				MC-571		
		流体力学特論		2			2			MC-552		
		流体工学特論		2			2			MC-551		
		内燃機関工学特論		2		2				MC-562		
		熱工学特論		2			2			MC-561		

○印必修

区分		授業科目	単 位 数	必 選 の 別	週時間数				科目ナンバリング		
					1 年		2 年				
					前	後	前	後			
機械専攻	専門科目	機械制御特論	2		2			MC-541			
		強度工学特論	2		2			MC-572			
		機械振動学特論	2		2			MC-531			
		新素材工学特論	2		2			MC-573			
		表面処理特論	2		2			MC-581			
		切削加工学特論	2		2			MC-582			
		デジタル制御特論	2		2			MS-561			
		システム制御特論	2		2			MS-562			
		強度評価学特論	2		2			MS-522			
		材料強度学特論	2		2			MS-523			
		宇宙環境計測特論	2		2			MS-552			
		Antenna, Circuit Technology, and Measurement Technology, Adv.	2		2			MS-553			
		伝熱工学特論	2		2			MS-541			
		ロボティクス特論	2		2			MS-571			
		メカトロニクス特論	2		2			MS-572			
		システム設計工学特論	2		2			MS-573			
		宇宙構造工学特論	2		2			MS-574			
		数値熱流体工学特論	2		2			MS-542			
		機械システム工学事例研究	1		1			MS-591			
		特別講義(機械Ⅰ)	2					MC-511			
		特別講義(機械Ⅱ)	2		2			MS-511			
		機械実習Ⅰ	2	○	2			MC-5Y1	MS-5Y1		
		機械実習Ⅱ	2	○	(2)	2		MC-5Y2	MS-5Y2		
機械特別研究Ⅰ	4	○	(4)	(4)	4	MC-5Z1	MS-5Z1				
機械特別研究Ⅱ	4	○	(4)	(4)	(4)	4	MC-5Z2	MS-5Z2			
電気・化学専攻	専門基礎科目	電気回路特論	2		2			EE-531			
		電気磁気学特論	2		2			EE-532			
		先端デバイス特論	2		2			EE-533			
		電気機器特論	2		2			EE-534			
		電力エネルギー特論	2		2			EE-535			
		生体医工学基礎特論	2		2			MD-544			
		臨床器械工学特論	2		2			MD-541			
		生体計測工学特論	2		2			MD-542			
		医用電子工学特論	2					MD-521			
		応用電気化学特論	2		2			AC-522			

○印必修

区分		授業科目	単位数	必修 の別	週時間数				科目ナンバリング		
					1 年		2 年				
					前	後	前	後			
電気・化学専攻	専門基礎科目	有機材料化学特論	2			2			AC-523		
		先端 X 線分析特論	2			2			AC-524		
		無機材料プロセス学特論	2			2			AC-561		
	専門科目	ナノエレクトロニクス特論	2		2				EE-562		
		計算電子工学特論	2						EE-571		
		パワーエレクトロニクス特論	2		2				EE-572		
		電気機械安全特論	2						EE-581		
		電力システム工学特論	2		2				EE-582		
		プラズマ応用工学特論	2		2				EE-546		
		電気生理学特論	2			2			MD-545		
		外科治療学特論	2			2			MD-546		
		生体材料工学特論	2		2				MD-543		
		結晶化学特論	2			2			AC-551		
		物質変換化学特論	2			2			AC-552		
		コロイド化学特論	2		2				AC-541		
		機能性高分子材料学特論	2		2				AC-531		
		生体分子機能化学特論	2		2				AC-532		
		反応設計化学特論	2		2				AC-542		
		反応プロセス工学特論	2		2				AC-543		
		分子性材料設計特論	2		2				AC-533		
		ことづくりとひとづくり特論	2			2			EE-511		
		グローバルことづくり戦略特論	2						EE-512		
		ゲームチェンジ特論	2			2			EE-536		
		交通とまちづくり特論	2		2				EE-537		
		スマートコミュニティ特論	2			2			EE-538		
		IoT 計測通信制御特論	2			2			EE-541		
		IoT 応用とセキュリティ特論	2						EE-542		
		VR・CG コンテンツ制作特論	2						EE-543		
		原子力政策・応用特論	2						EE-544		
		ことづくり特別講義	2		2				EE-513		
		SDGs 特論	2						EE-514		
		技術者倫理特論	2		2				EE-515		
		特別講義(電気・化学Ⅰ)	2			2			EE-551		
		特別講義(電気・化学Ⅱ)	2						MD-547		

○印必修

区分		授業科目	単位 数	必 選 の 別	週時間数				科目ナンバリング		
					1 年		2 年				
					前	後	前	後			
電気・化学専攻	専門科目	特別講義(電気・化学Ⅲ)	2						AC-591		
		電気・化学実習Ⅰ	2	○	2				EE-5Y1	MD-5Y1	AC-5Y1
		電気・化学実習Ⅱ	2	○	(2)	2			EE-5Y2	MD-5Y2	AC-5Y2
		電気・化学特別研究Ⅰ	4	○	(4)	(4)	4		EE-5Z1	MD-5Z1	AC-5Z1
		電気・化学特別研究Ⅱ	4	○	(4)	(4)	(4)	4	EE-5Z2	MD-5Z2	AC-5Z2
共同原子力専攻		原子炉物理学特論	2		2				NE-531		
		原子炉設計学特論	2			2			NE-532		
		原子炉核工学特論	2		2				NE-533		
		原子力安全学特論	2			2			NE-561		
		原子力耐震工学特論	2		2				NE-551		
		原子炉構造力学特論	2		2				NE-552		
		原子炉熱流動学特論Ⅰ	2		2				NE-553		
		原子炉熱流動学特論Ⅱ	2			2			NE-554		
		原子力材料・燃料工学特論	2		2				NE-535		
		核融合炉学特論	2			2			NE-536		
		放射化学特論	2		2				NE-541		
		核燃料サイクル工学特論	2		2				NE-542		
		放射線計測特論	2		2				NE-571		
		原子炉計測特論	2			2			NE-537		
		放射線管理・医学生物学特論	2			2			NE-574		
		量子ビーム・核データ工学特論	2		2				NE-575		
		エネルギー政策学特論	2			2			NE-512		
		安全人間工学	2			2			NE-563		
		原子力プラント工学・プラント制御特論	2			2			NE-534		
		原子力耐震安全・リスク工学特論	2			2			NE-564		
		原子炉特別実験	2		2				NE-521		
		原子炉実習	2		2				NE-522		
		原子力システム工学演習Ⅰ	1	○*	1		(1)		NE-5Y1		
		原子力安全工学演習Ⅰ	1	○*	1		(1)		NE-5Y2		
		放射線計測工学演習Ⅰ	1	○*	1		(1)		NE-5Y3		
		放射線応用工学演習Ⅰ	1	○*	1		(1)		NE-5Y4		
		原子炉物理学演習Ⅰ	1	○*	1		(1)		NE-5Y5		
		原子炉熱流動工学演習Ⅰ	1	○*	1		(1)		NE-5Y6		
	原子力耐震工学演習Ⅰ	1	○*	1		(1)		NE-5Y7			
	原子力システム工学演習Ⅱ	1	○*	(1)		1		NE-5Y8			

○印必修

区分		授業科目	単位 数	必 選 の 別	週時間数				科目ナンバリング		
					1 年		2 年				
					前	後	前	後			
共同原子力専攻		原子力安全工学演習Ⅱ	1	○*	(1)		1		NE-5Y9		
		放射線計測工学演習Ⅱ	1	○*	(1)		1		NE-5YA		
		放射線応用工学演習Ⅱ	1	○*	(1)		1		NE-5YB		
		原子炉物理学演習Ⅱ	1	○*	(1)		1		NE-5YC		
		原子炉熱流動工学演習Ⅱ	8	○*	(8)		8		NE-5ZD		
		原子力耐震工学演習Ⅱ	8	○*	(8)		8		NE-5ZE		
		原子力システム工学特別研究	8	○*	(8)		8		NE-5ZF		
		原子力安全工学特別研究	8	○*	(8)		8		NE-5ZG		
		放射線計測工学特別研究	8	○*	(8)		8		NE-5ZH		
		放射線応用工学特別研究	8	○*	(8)		8		NE-5ZI		
		原子炉物理学特別研究	8	○*	(8)		8		NE-5ZJ		
		原子炉熱流動工学特別研究	8	○*	(8)		8		NE-5ZK		
		原子力耐震工学特別研究	8	○*	(8)		8		NE-5ZL		
自然科学専攻	専門基礎科目	物性物理学特論	2			2			NS-511		
		溶液科学特論	2			2			NS-512		
		高分子科学特論	2		2				NS-513		
	専門科目	理論物理学特論	2		2				NS-541		
		素粒子物理学特論	2			2			NS-531		
		原子核物理学特論	2			2			NS-532		
		生物物理学特論	2			2			NS-542		
		生物地球化学特論	2			2			NS-533		
		進化生物学特論	2			2			NS-534		
		宇宙科学特論	2			2			NS-535		
		惑星科学特論	2			2			NS-536		
		地質学特論	2		2				NS-537		
		古生物学特論	2			2			NS-538		
		数学特論Ⅰ	2		2				NS-543		
		数学特論Ⅱ	2			2			NS-544		
		自然科学実習Ⅰ	2	○	2				NS-5Y1		
		自然科学実習Ⅱ	2	○	(2)	2			NS-5Y2		
		自然科学特別研究Ⅰ	4	○	(4)	(4)	4		NS-5Z1		
		自然科学特別研究Ⅱ	4	○	(4)	(4)	(4)	4	NS-5Z2		
建築都市デザイン専攻	専門基礎科目	建築計画特論	2		2				AR-521		
		建築設計特論Ⅰ	4		8				AR-522		
		都市デザイン特論	2			2			AR-523		

○印必修

区分		授業科目	単 位 数	必 選 の 別	週時間数				科目ナンバリング		
					1 年		2 年				
					前	後	前	後			
建築都市デザイン専攻	専門基礎科目	建築生産特論	2		2				AR-531		
		地盤動力学特論	2			2			UC-571		
		地盤工学特論	2		2				UC-572		
		構造力学特論	2		2				UC-561		
		水理学特論	2			2			UC-551		
		総合演習ゼミ	1			2			UC-521		
		応用数理統計特論	2		2				UC-5B1		
		建設プロジェクトマネジメント特論	2			2			UC-5B2		
		国際建設マネジメント特論	2			2			UC-5B3		
		建設プロジェクトマネジメントシステム特論	2			2			UC-5B4		
	専門科目	建築設計特論Ⅱ	4			8			AR-525		
		建築構法特論	2			2			AR-532		
		建築材料特論	2		2				AR-533		
		温熱環境学特論	2			2			AR-551		
		建築振動工学特論	2			2			AR-542		
		建築構造計画特論	2		2				AR-543		
		建築構造解析特論	2			2			AR-544		
		空気環境学特論	2			2			AR-552		
		近現代建築史特論	2		2				AR-526		
		日本建築構法史特論	2		2				AR-528		
		光環境学特論	2			2			AR-553		
		建築設備計画特論	2		2				AR-554		
		設計インターンシップⅠ	3		12				AR-571		
		設計インターンシップⅡ	4			16			AR-572		
		設計インターンシップⅢ	3				12		AR-573		
		コンクリート工学特論	2		2				UC-562		
		構造信頼性特論	2						UC-563		
		耐震工学特論	2						UC-5A1		
		水文気象学特論	2			2			UC-591		
		上下水道工学特論	2						UC-592		
		維持管理工学特論	2			2			UC-564		
		地域計画特論	2						UC-531		
		交通工学特論	2		2				UC-532		
		ユニバーサルデザイン特論	2			2			UC-533		
		国際建設契約管理特論	2		2				UC-5B6		

○印必修

区分		授業科目	単位数	必修 の別	週時間数				科目ナンバリング		
					1 年		2 年				
					前	後	前	後			
建築都市デザイン専攻	専門科目	社会基盤情報マネジメント特論	2			2			UC-5B7		
		リスクマネジメント特論	2						UC-5B8		
		I Tプロジェクトマネジメント特論	2			2			UC-5B9		
		P P P／P F I 特論	2		2				UC-5BA		
		国際コンサルティングエンジニアリング特論	2			2			UC-5BB		
		契約責任・建設紛争の構造特論	2			2			UC-5BC		
		BIM を基盤とした建設マネジメント特論	2			2			UC-5BD		
		労働安全衛生特論	2			2			UC-5BI		
		特別講義(建築都市デザインⅠ)	2						AR-512		
		特別講義(建築都市デザインⅡ)	2						UC-522		
		特別講義(社会基盤マネジメントⅠ)	1		1				UC-5BE		
		特別講義(社会基盤マネジメントⅡ)	1			1			UC-5BF		
		特別講義(社会基盤マネジメントⅢ)	1		1				UC-5BG		
		特別講義(社会基盤マネジメントⅣ)	1			1			UC-5BH		
		建築都市デザイン実習Ⅰ	2	○	2				AR-5Y1	UC-5Y1	
		建築都市デザイン実習Ⅱ	2	○	(2)	2			AR-5Y2	UC-5Y2	
		建築都市デザイン特別研究Ⅰ	4	○	(4)	(4)	4		AR-5Z1	UC-5Z1	
		建築都市デザイン特別研究Ⅱ	4	○	(4)	(4)	(4)	4	AR-5Z2	UC-5Z2	
情報専攻	専門基礎科目	情報セキュリティ特論	2			2			CS-521		
		情報通信システム特論	2			2			EE-547		
		集積回路特論	2			2			EE-54A		
		情報理論特論	2			2			CS-551		
		計算数理学特論	2			2			CS-553		
		無線通信特論	2			2			EE-54B		
		情報処理基礎及び同演習	3			4			CS-511	EE-52A	IL-511
		情報処理応用及び同演習	3			4			CS-512	EE-52B	IL-512
		統計工学特論	2			2			IL-531		
		マルチメディア情報処理特論	2			2			IL-532		
		サプライチェーンネットワーク特論	2						IL-533		
		機械学習特論	2			2			IL-534		
		専門科目	制御理論特論	2			2			CS-552	
	信号処理特論		2			2			CS-541		
	VLSI 回路設計特論		2			2			CS-531		
	オペレーティングシステム特論		2			2			CS-532		
	画像情報処理特論		2			2			CS-542		

○印必修

区分		授業科目	単 位 数	必 選 の 別	週時間数				科目ナンバリング		
					1 年		2 年				
					前	後	前	後			
情報専攻	専門科目	色彩工学特論	2		2				CS-543		
		パターン情報処理特論	2		2				CS-544		
		通信システム工学特論	2		2				EE-54C		
		電波工学特論	2			2			EE-54D		
		集積化システム工学特論	2		2				EE-54E		
		強化学習特論	2			2			CS-554		
		自然言語処理特論	2			2			CS-545		
		現代脳計算特論	2			2			IL-574		
		Artificial Intelligence, Adv.	2		2				CS-555		
		通信信頼性工学特論	2			2			EE-54F		
		グローバルイノベーション特論	2						IL-565		
		数理情報工学特論	2		2				IL-561		
		経営情報特論	2						IL-562		
		ヒューマンインタフェース特論	2			2			IL-563		
		通信ネットワーク特論	2		2				IL-564		
		視覚情報工学特論	2			2			CS-547		
		画像解析特論	2			2			CS-546		
		データベース特論	2		2				IL-571		
		データ可視化特論	2						IL-572		
		ビッグデータ分析特論	2			2			IL-573		
		生理学的信号の非線形解析特論	2		2				IL-551		
		情報実習Ⅰ	2	○	2				CS-5Y1	EE-5Y6	IL-5Y1
		情報実習Ⅱ	2	○	(2)	2			CS-5Y2	EE-5Y7	IL-5Y2
		情報特別研究Ⅰ	4	○	(4)	(4)	4		CS-5Z1	EE-5Z6	IL-5Z1
		情報特別研究Ⅱ	4	○	(4)	(4)	(4)	4	CS-5Z2	EE-5Z7	IL-5Z2

※共同原子力専攻の各演習Ⅰ・演習Ⅱ・特別研究は、指導教員が担当する科目のみ履修可能であり、必修科目とする。

専攻名	科目区分	必修科目名	年次及び単位数							科目ナンバリング		
			3 年次		4 年次		5 年次		計			
			前	後	前	後	前	後				
機械	講究	機械講究Ⅰ	4						4	MC-7Y1	MS-7Y1	
		機械講究Ⅱ	(4)	4					4	MC-7Y2	MS-7Y2	
	研究	機械特殊研究Ⅰ	(4)	(4)	4				4	MC-7Z1	MS-7Z1	
		機械特殊研究Ⅱ	(4)	(4)	(4)	4			4	MC-7Z2	MS-7Z2	
		機械特殊研究Ⅲ	(4)	(4)	(4)	(4)	4		4	MC-7Z3	MS-7Z3	
		機械特殊研究Ⅳ	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	4	4	MC-7Z4	MS-7Z4	
電気・化学	講究	電気・化学講究Ⅰ	4						4	EE-7Y1	MD-7Y1	AC-7Y1
		電気・化学講究Ⅱ	(4)	4					4	EE-7Y2	MD-7Y2	AC-7Y2
	研究	電気・化学特殊研究Ⅰ	(4)	(4)	4				4	EE-7Z1	MD-7Z1	AC-7Z1
		電気・化学特殊研究Ⅱ	(4)	(4)	(4)	4			4	EE-7Z2	MD-7Z2	AC-7Z2
		電気・化学特殊研究Ⅲ	(4)	(4)	(4)	(4)	4		4	EE-7Z3	MD-7Z3	AC-7Z3
		電気・化学特殊研究Ⅳ	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	4	4	EE-7Z4	MD-7Z4	AC-7Z4
自然科学	講究	自然科学講究Ⅰ	4						4	NS-7Y1		
		自然科学講究Ⅱ	(4)	4					4	NS-7Y2		
	研究	自然科学特殊研究Ⅰ	(4)	(4)	4				4	NS-7Z1		
		自然科学特殊研究Ⅱ	(4)	(4)	(4)	4			4	NS-7Z2		
		自然科学特殊研究Ⅲ	(4)	(4)	(4)	(4)	4		4	NS-7Z3		
		自然科学特殊研究Ⅳ	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	4	4	NS-7Z4		
建築都市デザイン	講究	建築都市デザイン講究Ⅰ	4						4	AR-7Y1	UC-7Y1	
		建築都市デザイン講究Ⅱ	(4)	4					4	AR-7Y2	UC-7Y2	
	研究	建築都市デザイン特殊研究Ⅰ	(4)	(4)	4				4	AR-7Z1	UC-7Z1	
		建築都市デザイン特殊研究Ⅱ	(4)	(4)	(4)	4			4	AR-7Z2	UC-7Z2	
		建築都市デザイン特殊研究Ⅲ	(4)	(4)	(4)	(4)	4		4	AR-7Z3	UC-7Z3	
		建築都市デザイン特殊研究Ⅳ	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	4	4	AR-7Z4	UC-7Z4	
情報	講究	情報講究Ⅰ	4						4	CS-7Y1	EE-7Y6	IL-7Y1
		情報講究Ⅱ	(4)	4					4	CS-7Y2	EE-7Y7	IL-7Y2
	研究	情報特殊研究Ⅰ	(4)	(4)	4				4	CS-7Z1	EE-7Z6	IL-7Z1
		情報特殊研究Ⅱ	(4)	(4)	(4)	4			4	CS-7Z2	EE-7Z7	IL-7Z2
		情報特殊研究Ⅲ	(4)	(4)	(4)	(4)	4		4	CS-7Z3	EE-7Z8	IL-7Z3
		情報特殊研究Ⅳ	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	4	4	CS-7Z4	EE-7Z9	IL-7Z4

専攻名	研究指導科目	科目ナンバリング
	(第3年次～第5年次)	
共同原子力	原子力システム工学特殊研究	NE-7Z1
	原子力安全工学特殊研究	NE-7Z2
	放射線計測工学特殊研究	NE-7Z3
	放射線応用工学特殊研究	NE-7Z4
	原子炉物理学特殊研究	NE-7Z5
	原子炉熱流動工学特殊研究	NE-7Z6
	原子力耐震工学特殊研究	NE-7Z7

注：共同原子力専攻博士後期課程では単位制による科目の授業は行わない。

科目ナンバリング：YY-LMD

YY：科目区分	L：レベル	M：科目群	D：識別番号
LA：総合教養科目(外国語以外)	5：博士前期課程	学部に準ずる	1から連番
FL：総合教養科目(外国語)	7：博士後期課程	(各学部学修要覧参照)	
SE/IT/AU：総合基礎科目			
MC：機械工学領域		Y(コースワーク)：実習・演習・講究	
MS：機械システム工学領域		Z(リサーチワーク)：特別研究・特殊研究	
NE：共同原子力領域			
MD：医用工学領域			
EE：電気電子工学領域			
AC：応用化学領域			
AR：建築学領域			
UC：都市工学領域			
NS：自然科学領域			
CS/EE：情報工学領域			
IL：システム情報工学領域			

1. 教育職員免許状について

＊平成4年度(1992年度)から、教育職員免許法等の法令で定められた教育職員免許状（専修免許状）を取得することができる。

2. 免許状の種類

＊本大学院課程で取得できる免許状の種類は、下記の通りである。

研究科	専攻	免許状の種類	(教科)
総合理工学研究科	機械専攻	中学校教諭専修免許状	(技術)
		高等学校教諭専修免許状	(工業)
	電気・化学専攻	高等学校教諭専修免許状	(理科)
		高等学校教諭専修免許状	(工業)
	共同原子力専攻	中学校教諭専修免許状	(理科)
		高等学校教諭専修免許状	(理科)
	自然科学専攻	中学校教諭専修免許状	(理科)
		高等学校教諭専修免許状	(理科)
	情報専攻	高等学校教諭専修免許状	(情報)

3. 専修免許状取得に必要な資格・条件等

①修士の学位を有していること。

(または、修士の学位を有していない場合であっても、本大学院に1年以上在学し、大学院の授業科目を30単位以上修得の者は、個人で申請することができる。)

②専修免許状を取得するには、中学校または高等学校の1種免許状を取得しているか、または、同免許の取得に必要な所定の単位を修得していなければならない。

＊1種免許状と大学院で取得できる専修免許状の学校種別(中学校、高等学校)の教科は同じでなければならない。

＊1種免許状を取得するための必要事項については、4月ガイダンス時に説明する。

③「教科に関する科目」を大学院履修要綱に従い、「総合理工学研究科博士前期課程教育課程表」授業科目の中から最低修得単位である24単位以上(授業科目30単位以上中に、教科に関する科目24単位以上が含まれていること。)を取得すること。

＊該当する「授業科目」は、次ページ以降に列挙する。

4. 免許状の申請

＊教育職員免許状は、都道府県教育委員会に申請することによって、はじめて授与されるものである。この申請は、それぞれが個人で居住する都道府県教育委員会に申請(個人申請)と、大学としてまとめて申請(一括申請)手続きがある。本学は、免許状の申請を一括して行い、学位授与式当日に免許状が交付されるようにその手続きを代行している。

＊本学がまとめて東京都教育委員会に一括申請する分については、博士前期課程2年生の6～7月頃に、教育職員免許状（専修免許状）取得希望者ガイダンスを行う。ガイダンス時に申請に必要な書類を記入し、提出すること。

5. 免許状の交付

＊一括申請手続きをして資格・条件等を満たした者には、学位授与式当日に東京都教育委員会から免許状が交付される。

＊資格・条件等を満たしているにも関わらず一括申請をしなかったときは、学位授与式当日に免許状の交付を受けることはできないが、後日居住する都道府県教育委員会へ個人で申請すれば交付を受けることができる。

■中学校教諭専修免許状「技術」

機械専攻	
科 目 名	単 位 数
機械材料学特論	2
強度工学特論	2
機械振動学特論	2
機械制御特論	2
切削加工学特論	2
表面処理特論	2
新素材工学特論	2
機械工学基礎特論	2
熱工学特論	2
流体工学特論	2
環境保全技術特論	2
電子計測工学特論	2
システム制御特論	2
強度評価学特論	2
伝熱工学特論	2
システム設計工学特論	2

■中学校教諭専修免許状「理科」

共同原子力専攻		自然科学専攻	
科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
原子炉物理学特論	2	物性物理学特論	2
原子炉設計学特論	2	溶液科学特論	2
原子力安全学特論	2	高分子科学特論	2
原子炉熱流動学特論Ⅰ	2	理論物理学特論	2
原子炉熱流動学特論Ⅱ	2	素粒子物理学特論	2
核融合炉学特論	2	原子核物理学特論	2
放射化学特論	2	生物物理学特論	2
放射線計測特論	2	生物地球化学特論	2
放射線管理・医学生物学特論	2	進化生物学特論	2
原子炉特別実験	2	宇宙科学特論	2
原子炉実習	2	惑星科学特論	2
原子力材料・燃料工学特論	2	地質学特論	2
原子力プラント工学・プラント制御特論	2	古生物学特論	2
		量子力学特論Ⅰ	2
		量子力学特論Ⅱ	2
		分析化学特論	2
		化学反応特論	2
		統計力学特論	2

■高等学校教諭専修免許状「理科」

電気・化学専攻		共同原子力専攻		自然科学専攻	
科 目 名	単位数	科 目 名	単位数	科 目 名	単位数
先端デバイス特論	2	原子炉物理学特論	2	物性物理学特論	2
電力エネルギー特論	2	原子炉設計学特論	2	溶液科学特論	2
電気磁気学特論	2	原子力安全学特論	2	高分子科学特論	2
電気回路特論	2	原子炉熱流動学特論Ⅰ	2	理論物理学特論	2
パワーエレクトロニクス特論	2	原子炉熱流動学特論Ⅱ	2	素粒子物理学特論	2
結晶化学特論	2	核融合炉学特論	2	原子核物理学特論	2
コロイド化学特論	2	放射化学特論	2	生物物理学特論	2
機能性高分子材料学特論	2	放射線計測特論	2	生物地球化学特論	2
先端X線分析特論	2	放射線管理・医学生物学特論	2	進化生物学特論	2
生体分子機能化学特論	2	原子炉特別実験	2	宇宙科学特論	2
量子力学特論Ⅰ	2	原子炉実習	2	惑星科学特論	2
量子力学特論Ⅱ	2	原子力材料・燃料工学特論	2	地質学特論	2
統計力学特論	2	原子力プラント工学・プラント制御特論	2	古生物学特論	2
分析化学特論	2			量子力学特論Ⅰ	2
化学反応特論	2			量子力学特論Ⅱ	2
				分析化学特論	2
				化学反応特論	2
				統計力学特論	2

■高等学校教諭専修免許状「情報」

情報専攻	
科 目 名	単 位 数
VLSI 回路設計特論	2
情報セキュリティ特論	2
オペレーティングシステム特論	2
画像情報処理特論	2
パターン情報処理特論	2
強化学習特論	2
自然言語処理特論	2
通信システム工学特論	2
無線通信特論	2
通信信頼性工学特論	2
電波工学特論	2
集積化システム工学特論	2
色彩工学特論	2
集積回路特論	2
情報処理基礎及び同演習	3
情報処理応用及び同演習	3
統計工学特論	2
経営情報特論	2
ヒューマンインタフェース特論	2
通信ネットワーク特論	2
視覚情報工学特論	2
数理情報工学特論	2

■高等学校教諭専修免許状「工業」

機械専攻		電気・化学専攻	
科 目 名	単 位 数	科 目 名	単 位 数
機械材料学特論	2	ナノエレクトロニクス特論	2
流体力学特論	2	計算電子工学特論	2
流体工学特論	2	電気機械安全特論	2
内燃機関工学特論	2	電力システム工学特論	2
熱工学特論	2	プラズマ応用工学特論	2
機械工学基礎特論	2	反応プロセス工学特論	2
材料力学特論	2	反応設計化学特論	2
切削加工学特論	2	分子性材料設計特論	2
技術英語演習Ⅰ	1	無機材料プロセス学特論	2
新素材工学特論	2	有機材料化学特論	2
機械振動学特論	2	国際技術経営特論	2
表面処理特論	2	技術と知的財産権	2
電子計測工学特論	2	技術英語演習Ⅰ	1
システム制御特論	2	技術英語演習Ⅱ	1
強度評価学特論	2	環境保全技術特論	2
伝熱工学特論	2		
システム設計工学特論	2		



各種様式

学位論文・特定課題研究 主題申請書・研究計画書

Dissertation, specific subject research, subject application, research plan

YY / MM / DD
年 月 日

東京都市大学長 殿
To President of Tokyo City University,

専攻名	Major
学科目または領域名	Course or area name
学籍番号	Student ID
氏名	Name

下記のとおり学位論文又は特定課題研究の主題と研究計画を定め申請いたします。
I will apply for a dissertation or a specific subject research title and research plan as follows.

記

主 題 (M2・D5のみ記入すること)
Title (M2 and D5 only)

指導教員
Supervisor's Name

学位論文内容要旨 (150文字程度) (M2・D5のみ記入すること)
Abstract of dissertation (50-100 words) (M2 and D5 only)

研究計画 (学生記入)
Research Plan (by student)

前期 (後学期入学者は後期) (150文字程度)	The first semester (50-100 words)
後期 (後学期入学者は前期) (150文字程度)	The second semester (50-100 words)

指導計画 (指導教員 記入)
Research Plan (by supervisor)

前期 (後学期入学者は後期)	The first semester
後期 (後学期入学者は前期)	The second semester

様式M-1

WebClass による学位論文又は特定課題研究報告書のオンライン提出について

学位論文又は特定課題研究報告書の提出にあたっては、次の各事項に留意して下さい。

1. 提出までの流れ

- ① 指導教員より提出の許可を得る。
- ② WebClass の提出用コースにて①の許可を受けた日付の入力と提出書類データ（論文本体+様式書類の PDF ファイル）のアップロードをおこなう。
- ③ WebClass にて論文主題を入力する。
- ④ 論文データ（要請があれば紙媒体）を主査と副査に渡す。

2. 論文および様式書類の提出（アップロード）締切

提出締切 2026年1月22日（木）12:00（厳守）

提出先 WebClass→総合理工学研究科（申請用）→学位申請論文提出

3. 提出（アップロード）方法

- ① 学位申請に必要な以下のデータを PDF 形式で保存し、自身の PC 上で一つ一つのフォルダに収納する。

- ・ 学位論文は特定課題研究報告書
 - ・ 様式M-2 学位請求書（指導教員の押印は不要）
 - ・ 様式M-3 目録
 - ・ 様式M-4 要旨（和文1,000字程度※）※欧文とする場合、250単語程度
 - ・ 様式M-5 履歴書
 - ・ 様式M-6 研究歴
 - ・ 参考論文（必要な場合のみ）
 - ・ 本籍確認書類のデータ（PDF や画像データ等）
- ※戸籍簿本（抄本可）または本籍記載の住民票（外国人留学生の方は、各市区町村発行の「住民票」）を事前に取得し、ご自身でスキャンや撮影等でPDFや画像データ化し、アップロードして下さい。

※本籍確認書類は書類全体が写り、記載内容が確認できるよう鮮明な状態でデータ化して下さい。

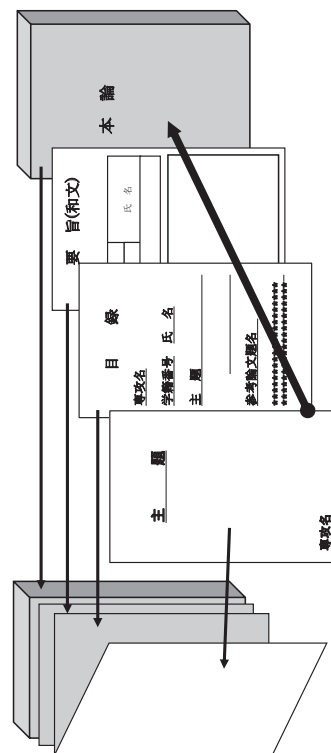
- ② 上記フォルダ名は「学籍番号・氏名」にする。
- ③ フォルダをzip形式に圧縮する。
- ※Mac や Linux 等で圧縮をするとファイル名が文字化けを起す場合があるため、フォルダの圧縮作業は可能な限り Windows の環境下でおこなって下さい。
- ④ 圧縮したzipファイルをアップロードし提出する。
- ⑤ 上記手順ができない場合は論文および必要書類を一つのPDFファイルにまとめて提出してもよいがファイル名に学籍番号と氏名を入力すること。
- ⑥ アップロード前に必ず指導教員から論文提出許可を受けた日付を入力すること。
- ※日付の入力が無い場合、論文を受理できない可能性があります
- ⑦ アップロード後、論文データ（要請があれば紙媒体）を主査と副査に渡す。

4. 論文主題の入力

- ① 論文提出の際、WebClass にて論文の主題を入力して下さい。
入力先は WebClass の論文提出フォーム内にあります。
- ② 入力の注意点
 - ・ 原則として主題のみを記入して下さい。
 - ・ 主題が外国語の場合、日本語の訳文を（ ）を付して記入して下さい。
 - ・ やむを得ず副題を記入する際は、「-（ハイフン）」や「～（チルダ）」等で囲い、それが明らかに副題であると分かるようにして下さい。
 - ・ ここで記入した主題がそのまま成績証明書に記載されるため、誤字・脱字や学位請求書類と齟齬が無いように気をつけて下さい。

5. その他の注意事項

- ・ 様式M-2～6はSCポータルサイト内の文書ライブラリより入手して下さい。
- ・ 様式M-7、8については、教学課より指導教員に提出を依頼します。
- ・ 紙媒体での論文提出を求められた場合、ファイルの表紙には、主題・専攻名・学籍番号・氏名を次の図のように記載し、提出書類のうち、「目録」「要旨」は、各論文ファイルに「目録」「要旨」「本文」の順で綴じ込んで下さい。



注)審査委員予定者(主査+副査)の人数分を用意して下さい。
・ 主査1名+副査2名の場合：3部用意して下さい。
・ 主査1名+副査3名の場合：4部用意して下さい。

事務手続きについてご質問・ご要望がある場合、下記までご連絡下さい。

教学課 大学院担当 E-mail sekyouin@ecu.ac.jp

様式M-2	令和 年 月 日	学位請求書	様式M-3
東京都市大学長 殿			目 録
指導教員			
学位請求者			専 攻 名
学籍番号			
専 攻 名			学 籍 番 号
氏 名			氏 名
記			主 題*1
私は、東京都市大学学位規程第5条第1項により修士(工学)/修士(理学)の学位を請求したいので、 下記関係書類を添えて提出いたします。			
1. 学位論文又は特定課題研究報告書		学位論文又は 特定課題研究 報告書 主題	参考論文題名*2,*3
2. 目録		(様式M-3)	
3. 要旨(1,000字程度)		(様式M-4)	
4. 履歴書		(様式M-5)	
5. 研究歴		(様式M-6)	
6. 戸籍謄本(抄本可)または本籍地記載の住民票(外国人留学生は各市区町村発行の住民票)			
7. 参考論文(必要な場合のみ)			
(注) 提出の際は事前に指導教員の許可を得ること			
*1 主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。			
備考			*1. 主題が外国語の場合は、日本語で訳文を()を付して記入すること。 *2. 参考論文の提出は指導教員の指示があるものに限る。 *3. 参考論文が2つ以上ある場合は、それぞれの題目および部数(件数)を記入すること。

様式M-4

要 旨 (和文)

(1,000字程度)

専攻名		
学籍番号	氏 名	
主 題		

要 旨

様式M-5

履 歴 書

専攻名	学籍番号
-----	------

フリガナ	男・女
氏 名	

生年月日

本 籍

現住所〒

■学歴 (高等学校以上)	学 校 名 等
年 月	

■職歴	学 校 名 等
年 月	

様式 M-6

研究歴

学籍番号			氏名		
専攻名	書名		発行所	発行年月日	
著書					
学術論文	論文名	発表誌名	発表年月日		
研究発表	題名	発表機関	発表年月日		

(注) 研究歴中、学会誌等に発表されたものは学術論文部門、講演等による発表のものは研究発表部門に区別して記入すること。

D-6
様式 M-7

令和 年 月 日

東京都立大学 長 殿

専攻
主任教授

論文審査委員会委員候補者

主査		
委員 (博士後期課程 3名以上) (博士前期課程 2名以上)		
学籍番号	氏名	

様式 M-8 (24 以降入学生対象)

令和 年 月 日
東京都市大学 校長 殿

審査委員会

主査 _____ 委員 1 _____
委員 2 _____ 委員 3 _____

学位論文審査報告書および最終試験報告書

専攻名		
学籍番号	氏名	
論文題名		
学位論文審査報告書		
学 位 論 文 審 査 報 告		判 定

結果の要旨

評価	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)
----	----	----	----	----	----	----	----

- 1) 研究目的が理工学に関わるものであり、テーマが明確で、課題も適切であること。
2) 課題内容を充分理解・分析した上で、課題解決のための情報収集を行っていること。
3) 収集した情報を基に、課題解決のための理工学的に合理的な提案を行っていること。
4) 課題解決のための提案項目に対して、自らが具体的に展開・実行していること。
5) 課題解決のための最終結果を自ら分析し、何らかの知見としてまとめていること。
6) 論文としての体裁が整っており、文章表現が適切であること。
7) 発表会における説明が明確であり、質疑にも適切に回答していること。

最 終 試 験 報 告		判 定
1. 論文を中心とした科目試験		評 価
結果の要旨		評 価
2. 外国語試験 (該当する項目に✓せよ。なお、社会人は簡単に理由を記すこと。)		
☐ CER B1 の能力を有する ☐ 国際会議・国際コンベンでの発表の実績を有する ☐ 修士論文の全文を英語で執筆した実績を有する ☐ TOEIC公式教材 OLC の指定された範囲の学習歴を有する ☐ 英語著者として査読有り国際ジャーナルに論文を投稿した実績を有する ☐ 社会人 (理由: _____)		

(注) 判定は合格・不合格の評語で記入すること。評価は上・中・下を記入すること。
評価 “下” の場合は、判定は “不合格” となる。

様式 M-9 (24 以降入学生対象)

令和 年 月 日
東京都市大学 校長 殿

審査委員会

主査 _____ 委員 1 _____
委員 2 _____ 委員 3 _____

特定課題研究審査報告書および最終試験報告書

専攻名		
学籍番号	氏名	
論文題名		
特定課題研究審査報告書		
特 定 課 題 研 究 審 査 報 告		判 定

結果の要旨

評価	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)
----	----	----	----	----	----	----	----

- 1) 研究目的が理工学に関わるものであり、テーマが明確で、課題も適切であること。
2) 課題内容を充分理解・分析した上で、課題解決のための情報収集を行っていること。
3) 収集した情報を基に、課題解決のための理工学的に合理的な提案を行っていること。
4) 課題解決のための提案に至る調査結果を系統的に整理していること。
5) 課題解決のための調査結果を自ら分析し、何らかの知見としてまとめていること。
6) 報告書としての体裁が整っており、文章表現が適切であること。
7) 発表会における説明が明確であり、質疑にも適切に回答していること。

最 終 試 験 報 告		判 定
1. 論文を中心とした科目試験		評 価
結果の要旨		評 価
2. 外国語試験 (該当する項目に✓せよ。なお、社会人は簡単に理由を記すこと。)		
☐ CER B1 の能力を有する ☐ 国際会議・国際コンベンでの発表の実績を有する ☐ 特定課題研究審査書の全文を英語で執筆した実績を有する ☐ TOEIC公式教材 OLC の指定された範囲の学習歴を有する ☐ 英語著者として査読有り国際ジャーナルに論文を投稿した実績を有する ☐ 社会人 (理由: _____)		

(注) 判定は合格・不合格の評語で記入すること。評価は上・中・下を記入すること。
評価 “下” の場合は、判定は “不合格” となる。

様式D-1

東京都大学大学院
総合理工学研究科長 殿

指導教員

令和 年 月 日

提出者

学籍番号

専攻名

氏名

学位論文等の提出

私は、学位請求に先立ち、下記受理判定審査書類を提出致します。

記

1. 学位論文
2. 学位論文概要 (和文1,000字程度)
3. 研究歴

教学職受理	年 月 日	印
主任教授への受理報告	年 月 日	印

(注) 提出の際は事前に指導教員の許可を得ること

様式D-2

論文概要 (和文)

(1,000字程度)

専攻名	フリガナ 氏名	
学籍番号	指導教員名	
論文主題		

(論文概要)

(注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を () を付して記入すること。

様式 D-3

研 究 歴

学 籍 番 号		氏 名	
専 攻 名	書 名	発 行 所	発 行 年 月 日
著 書			
学 術 論 文	論 文 名	発 表 誌 名	発 表 年 月 日
研 究 発 表	題 名	発 表 機 関	発 表 年 月 日

(注) 研究歴中、学会誌等に発表されたものは学術論文部門、講演等による発表のものは研究発表部門に区別して記入すること。

様式 D-4

年 月 日

専攻主任

殿

教学課課長

学位論文等の受理報告書

下記の者の学位論文等を受理いたしましたので、同書類を添えてご報告致します。

記

- 1. 学位論文
- 2. 学位論文概要
- 3. 研究歴

論文提出者

学籍番号	
専 攻 名	
氏 名	

様式D-5

東京都市大学
大学院総合理工学研究科長

年 月 日

大学院総合理工学研究科
主任教授

専攻

論文発表会開催願

.....

.....

.....

.....

記

フリガナ 論文提出者	(年 月 日 生)
論文主題	
指導教員	

D-6
様式 M-7

東京都市大学 長 殿

令和 年 月 日

専 攻
主 任 教 授

論文審査委員会委員候補者

主 査	
委 員 (博士後期課程 3 名以上) (博士前期課程 2 名以上)	
学 籍 番 号	氏 名

様式D-7

WebClass による学位論文のオンライン提出について

学位論文の提出にあたっては、次の各事項に留意して下さい。

1. 提出までの流れ

- ① 指導教員より提出の許可を得る。【1回目および2回目】
- ② WebClass の提出用コースにて①の許可を受けた日付の入力と提出書類データ (論文本体・様式書類の PDF ファイル) のアップロードをおこなう。【1回目および2回目】
- ③ WebClass にて論文主題を入力する。【2回目提出時】
- ④ 論文データ (要請があれば紙媒体) を主査と副査に渡す。【2回目提出後】

2. 論文および様式書類の提出 (アップロード) 締切

提出締切 【1回目】 2025年11月21日 (金) 12:00 (厳守)

【2回目】 2026年1月22日 (木) 12:00 (厳守)

提出先 WebClass → 総合理工学研究科 (申請用) → 学位申請論文提出

3. 提出 (アップロード) 方法 【1回目】

- ① 学位申請に必要な以下のデータを PDF 形式で保存し、自身の PC 上で一つのフォルダに収納する。
 - ・ 学位論文
 - ・ 様式D-1 学位論文等の提出 (指導教員の押印は不要)
 - ・ 様式D-2 学位論文要綱 (1,000 字程度)
 - ・ 様式D-3 研究歴
- ② 上記フォルダ名は「学籍番号・氏名」にする。
- ③ フォルダを zip 形式に圧縮する。
- ④ 圧縮した zip ファイルをアップロードし提出する。
※Mac や Linux 等で圧縮をするときファイル名が文字化けを起す場合があるため、フォルダの圧縮作業は可能な限り Windows の環境下でおこなってください。
- ⑤ 上記手順ができない場合は論文および必要書類を一つの PDF ファイルにまとめて提出してもよいが、ファイル名に学籍番号と氏名を入力すること。
- ⑥ アップロード時に必ず指導教員から論文提出許可を受けた日付を記入して下さい。
※日付の記入が無い場合、論文を受理できない可能性があります。

4. 提出 (アップロード) 方法 【2回目】

- ① 学位申請に必要な以下のデータを PDF 形式で保存し、自身の PC 上で一つのフォルダに収納する。
 - ・ 学位論文
 - ・ 様式D-3 研究歴
 - ☆ 様式D-8 学位請求書
 - ・ 様式D-9 論文要旨 (和文 2,000 字) または様式D-10 論文要旨 (欧文 500 語)
 - ・ 様式D-11 目録
 - ・ 様式D-12 履歴書
 - ・ 参考論文 (必要な場合のみ)
 - ☆ 本籍補認書類のデータ (PDF や画像データ等)
- 戸籍簿本 (抄本可) または本籍記載の住民票 (外国人留学生の方は、各市区町村発行の「住民票」を事前に取得し、ご自身でスキャンや撮影等で PDF や画像データ化し、アップロードして下さい。
※本籍補認書類は書類全体が写り、記載内容が確認できるような状態でデータ化して下さい。
- ② 以降の手順は上記3と同様です。

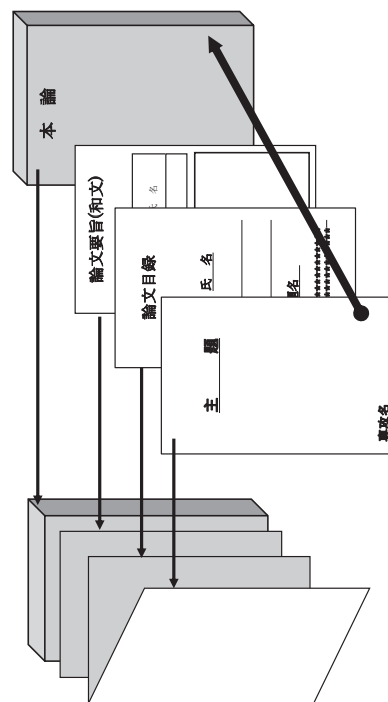
- ③ 上記、スタマークの付いた2つの書類の原本を窓口または郵送で教學課に提出する。
 - ・ 2つの書類の原本の提出は上記締切日を過ぎて構いませんが、アップロード後、できるだけ早くおこなってください (同書類のデータは期日までにアップロードすること)。
 - ・ 原本を提出する際には、様式D-8に指導教員の押印と自身の押印をおこなって提出して下さい。
- ④ アップロード後、論文データ (要請があれば紙媒体) を主査と副査に渡す。

5. 論文主題の入力

- ① 論文提出の際 WebClass にて論文の主題を入力して下さい。入力先はWebClass の論文提出フォーム内にあります。
- ② 入力の注意点
 - ・ 原則として主題のみを記入して下さい。
 - ・ 主題が外国語の場合、日本語の欧文を () を付して記入して下さい。
 - ・ やむを得ず副題を記入する際は、「ー (ハイフン)」や「〜(チルダ)」等で囲い、それが明らかに副題であると分かるようにして下さい。
 - ・ ここで記入した主題がそのまま成績証明書に記載されるため、誤字・脱字や学位請求書類と齟齬が無いように気をつけて下さい。

6. その他の注意事項

- ・ 様式書類は S C ポータルサイト内の文書ライブラリより入手して下さい。
- ・ 紙媒体での論文提出を求められた場合、ファイルの表紙には、主題・専攻名・学籍番号・氏名を次の図のように記載し、提出書類のうち、「(様式D-11)論文目録」「(様式D-9または10)論文要旨」は、各論文ファイルに「論文目録」「論文要旨 (和文・欧文)」「本文」の順で綴じ込んで下さい。



注) 審査委員予定者 (主査+副査) の人数分を用意して下さい。
 ・ 主査1名+副査2名の場合: 3部用意して下さい。
 ・ 主査1名+副査3名の場合: 4部用意して下さい。

- ・ 事務手続きについてご質問・ご要望がある場合、下記までご連絡下さい。
 教学課 大学院担当 E-mail: sekyoum@tcu.ac.jp

様式D-8

東京都市大学学長 殿

学位請求書

年 月 日

指導教員

承認印

学位請求者

専攻名

学籍番号

氏名

印

私は、東京都市大学学位規定第5条第2項により博士(工学)/博士(理学)の学位*を請求したいので、下記関係書類を添えて提出致します。

1. 学位論文

論文主題

部

(注) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。

2. 学位論文要旨(学位論文に綴ること)

イ. 和文(2,000字程度) 様式D-9

ロ. 欧文(500語程度) 様式D-10

3. 参考論文(必要に応じて)

4. 論文目録 様式D-11

5. 履歴書 様式D-12

6. 研究歴 様式D-3

7. 戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍地(国籍)が記載された住民票の写し

* 本学が適当と認めた場合に博士(学術)を授与する場合がある。

学位請求書類受領書

論文提出者

殿

年 月 日

提出書類等	部数
1. 論文	部
2. 論文要旨(和文及び英文各)	様式D-9、10 部
3. 論文目録	様式D-11 部
4. 参考論文(必要に応じて)	部
5. 履歴書	様式D-12 部
6. 研究歴	様式D-3 部
7. 戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍地(国籍)が記載された住民票の写し	1通

教学課受付印

様式D-9

論文要旨(和文)

(2,000字程度)

報告番号	甲第	号	氏名
論文主題			

(論文要旨)

(注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。

様式D-11

論文目録

東京都市大学

報告番号	甲第	号	氏名	
論文 主題				部
参考論文 題名				部

備考 論文の主題が外国語の場合は、日本語で訳文を（ ）を付して記入すること。

様式D-10

論文要旨(欧文)

(500 語程度)

報告番号	甲第	号	氏名	
論文主題				

(論文要旨)

様式D-12

履 歴 書

報告番号	甲第	号	専攻名	
フリガナ氏名				男・女
生年月日	年	月	日生	
本籍				
現住所	〒			
電話番号				
最終学歴	年 月 日 東京都市大学大学院総合理工学研究科 専攻博士後期課程修了見込			
研究歴	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
職歴	年 月 日	年 月 日	年 月 日	

様式D-13

東京都市大学学長 殿

年 月 日

総合理工学研究科長

主査 印

委員

委員

委員

学位論文審査及び最終試験結果報告書

学位請求者				
請求学位*1 いずれかに○を 付してください	博士(工学) 博士(理学)	該当する専攻名		
論文主題				
論文判定結果 年 月 日				
評価	1)	2)	3)	4)
1) 理工学に関する新たな研究によって得られた知見をまとめあげていること。 2) 深化した学問として専門知識を体系化できる能力を身に付けていること。 3) 先端的な知識と技術を駆使して社会ニーズを意識した研究を行っていること。 4) 著実に課題を解決し、新しい領域を開拓できる研究能力を身に付けていること。				
最終試験判定結果 年 月 日	専攻学術			
外国語				

専攻内構成員数*2 と判定結果	構成員数 可 : 名 無効 : 名 欠席 : 名	名 否 : 名 名
--------------------	-----------------------------------	-----------------

*1 本学が適当と認めた場合に博士(学術)を授与する場合がある。

*2 構成員 : D○含有資格者

(注) 判定は合格・不合格の評語で記入すること。評価は上・中・下を記入すること。
評価“下”の場合は、判定は“不合格”となる。

様式D-14

論文審査結果の要旨

報告番号	甲第	号	氏 名
論文審査担当者	主 査		
	委 員		

様式D-15

最終試験結果の要旨

報告番号	甲第	号	氏 名
最終試験担当者	主 査		
	委 員		

1. 論文を中心とした科目試験

2. 外国語試験（1外国語）

様式D-16
(大学院総合理工学研究科委員会報告用書式)

年 月 日

報告者(主査):

研究概要報告書

学位請求者	氏名		該当する 専攻名
論文主題			
キーワード (4～8つ程度)			
対象とする 工学分野			
研究目的 または 研究内容			
主たる成果 および特色 工学的意義 独創性 など			
その他 特記事項			

様式 D-17 R-16

東京都市大学大学院 総合理工学研究科長 殿

年 月 日

博士学位論文の公表に関する確認書

学位規則第9条及び東京都市大学学位規程第14条に定める博士学位論文の公表について、以下のとおり申請し、東京都市大学学位リポジトリに登録してインターネット公表することに同意致します。

なお、当該博士学位論文(全文または要約)をインターネット公表することによって、申請者の他に帰属する著作権等の権利を侵害することはありません。

学籍番号 (博士後期課程のみ)	学位請求者氏名	印
専攻名	指導教員	
論文題目		
連絡先	〒	
	Tel :	
	E-mail :	

※博士学位論文のインターネット公表について、以下の□に「レ」を付けて提出してください。

1 □ 私は学位授与日から1年以内に博士学位論文の全文をインターネット公表することに同意致します。

公表開始可能日

2 □ 私は以下のやむを得ない事情により博士学位論文の全文をインターネットによる公表ができないため、「論文の要旨」を「論文の要約」として公表することに同意致します。なお、やむを得ない事情が解消された際には、大学へ連絡の上、博士学位論文の全文をインターネット公表することに同意致します。

2-1 □ 立体形状による表現を含んでいる

2-2 □ 著作権や個人情報に係る制約がある

2-3 □ 出版刊行、学術ジャーナル掲載、特許の申請などの予定がある

2-4 □ その他のやむを得ない事情

2に該当する場合は、以下に事由等を明示すること。

1年以上公表できない事由の詳細

	年 月 日
全文の公表開始日 (未定の場合はその理由)	年 月 日

(※大学使用欄：以下には何も記入しないこと)

学位授与日	年 月 日	特記事項
-------	-------	------

様式 D-18 R-17

年 月 日

東京都市大学大学院 総合理工学研究科長 殿

博士学位論文の公表に関する報告書

インターネット公表を保留にしていた、私が執筆した下記の博士論文の全文について、やむを得ない事由が解消しましたので、インターネット上での公表をお願いします。

学位授与者情報

学籍番号 (博士後期課程のみ)	学位授与者氏名	印
専攻名	指導教員	
論文題目		
連絡先	〒	
	Tel :	E-mail :

提出先

東京都市大学数学課大学院担当

様式R-1 論文の概要(和文) (2,000字程度) <table><tr><td>論文提出者</td><td></td></tr><tr><td>論文の提出を受けた教授</td><td></td></tr><tr><td>論文主題</td><td></td></tr></table> (論文概要) (注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。	論文提出者		論文の提出を受けた教授		論文主題		様式R-2 学会誌等に発表した論文の目録 <table><tr><td>論文提出者</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 備考(1)既に印刷公表したものについては、その方法および年月日、未公表のものについては、公表の方法および時期を題名の下に記入すること。 (2)論文の題名が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。	論文提出者			
論文提出者											
論文の提出を受けた教授											
論文主題											
論文提出者											

様式R-3

履 歴 書

フリガナ
氏 名

男・女

生年月日

年

月

日生

本 籍

現 住 所

〒

番

学 歴 (高等学校以上)

職 歴

様式R-4

研 究 歴

論文提出者				
著 書	書 名	発行所	発行年月日	
学 術 論 文	論 文 名	発表誌名	発表年月日	
研 究 発 表	題 名	発表機関	発表年月日	

(注) 研究歴中、学会誌等に発表されたものは既に印刷公表したものであるについては、学術論文部門、講演等による発表のものは研究発表部門に区別して記入すること。

様式R-6

年 月 日

東京都市大学
大学院総合理工学研究科長 殿

氏名

論文発表会開催願

博士(工学)/博士(理学)*の学位請求に先立ち、下記学位論文の発表会を開催して頂きたいとお願い致します。

※本学が適当と認めた場合に博士(学術)を授与する場合があります。

論文提出者の略歴

現 住 所	〒	住
勤務先・職名		
勤務先住所	〒	住
最 終 学 歴	年 月 日	卒業 ・ 修了
職 歴	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

様式R-7

東京都市大学学長 殿

年 月 日

総合理工学研究科長

大学院総合理工学研究科

専攻

主任教授

学位論文受理願

記

フリガナ		
論文提出者		(年 月 日生)
論文主題		

【参考】

論文提出者の略歴

現住所	〒	()
勤務先・職名		
勤務先住所		()
最終学歴	年 月 日	卒業・修了
職歴	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

様式R-8

東京都市大学学長 殿

年 月 日

総合理工学研究科長

大学院総合理工学研究科

専攻

主任教授

学位論文審査委員会委員候補者審議願

学位論文審査委員会委員候補者として下記の 名を専攻において選出いたしましたので、大学院総合理工学研究科委員会にてご審議いただきたくお願いいたします。

記

【学位論文提出による博士の学位審査扱い】

論文提出者		
論文主題		
委員候補者	専攻名	氏名
	主査	
	委員	

様式R-9

東京都市大学学長 殿

学位請求書

年 月 日

承認印

指導教員

学位請求者 印

私は、東京都市大学学位規程第5条第3項により博士(工学)/博士(理学)の学位*を請求したいので、下記関係書類を添えて提出致します。

1. 学位論文

論文主題

部

(注) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。

2. 学位論文要旨(学位論文に綴ること)

イ. 和文(2,000字程度) 様式R-10 部

ロ. 欧文(500語程度) 様式R-11 部

3. 主要論文別冊 様式R-2 部

4. 主要論文目録 様式R-3 部

5. 履歴書 様式R-4 部

6. 研究歴 部

7. 戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍地(国籍)が記載された住民票の写し 1通 部

8. 最終学校の卒業証明書 1通 部

9. 論文審査料(払込用紙領収印が押印されたものの写し) 1部

*本学が適当と認めた場合に博士(学術)を授与する場合がある。

----- キリトリ -----

学位請求書類受領書

論文提出者 年 月 日

提出書類等

部数

1. 論文

部

2. 論文要旨各

様式 R-10、11

部

3. 主要論文別冊

部

4. 主要論文目録

様式 R-2

部

5. 履歴書

様式 R-3

部

6. 研究歴

様式 R-4

部

7. 戸籍謄本、戸籍抄本又は本籍地(国籍)が記載された住民票の写し

1 通

部

8. 卒業証明書

1 通

部

9. 論文審査料(払込用紙の写し)

1 部

部

様式R-10

論文の要旨(和文)

(2,000字程度)

論文提出者

論文主題

(論文要旨)

(注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を()を付して記入すること。

様式R-11

論文の要旨(欧文)

論文提出者	(500 語程度)
論文主題	

(論文要旨)

(注意) 論文主題が外国語の場合は、日本語の訳文を () を付して記入すること。

様式 R - 1 2

東京都市大学学長 殿

年 月 日

総合理工学研究科長

主査 印

委員

委員

委員

学位論文審査及び学力確認結果報告書

学位請求者		
請求学位*1 いすれかこのを 付してください	博士(工学) 博士(理学)	該当する専攻名
論文主題		
論文判定結果 年 月 日		
学力判定結果 年 月 日	専攻学術	
	外国語	

専攻内構成員数*2 と判定結果 年 月 日	構成員数 可 : 名 無効 : 名	名 否 : 名 名 欠席 : 名
-----------------------------	-------------------------	---------------------

*1 本学が適当と認めた場合に博士(学術)を授与する場合がある。

*2 構成員 : D O 含有資格者

(注) 判定の結果は、合格、不合格の評語で記入すること。

様式R-13

論文審査結果の要旨

(2,000字以上)

学位請求者	主 査 委員
論文審査担当者	

様式R-14

学力確認結果の要旨

学位請求者	主 査 委員
論文審査担当者	

1. 専攻学術に関する試験

2. 外国語試験 (1外国語)

様式RR-15
(大学院総合理工学研究科委員会報告用書式)

年 月 日

報告者（主査）： _____

研究概要報告書

学位請求者	氏名		該当する 専攻名	
論文主題				
キーワード (4～8つ程度)				
対象とする 工学分野				
研究目的 また は 研究内容				
主たる成果 および特色 工学的意義 独 創 性 など				
その他 特記事項				

様式 D-17 R-16

東京都市大学大学院 総合理工学研究科長 殿

博士學位論文の公表に関する確認書

学位規則第9条及び東京都市大学学位規程第14条に定める博士學位論文の公表について、以下のとおり申請し、東京都市大学学術リポジトリに登録してインターネット公表することに同意致します。
なお、当該博士學位論文（全文または要約）をインターネット公表することによって、申請者の他に帰属する著作権等の権利を侵害することはありません。

学籍番号 (博士後期課程のみ)	学位請求者氏名	印
専攻名	指導教員	
論文題目		
連絡先	〒	
	Tel :	
	E-mail :	

※博士學位論文のインターネット公表について、以下の□に「レ」を付けて提出してください。

☐ 私は学位授与日から1年以内に博士學位論文の全文をインターネット公表することに同意致します。
公表開始可能日

☐ 私は以下のやむを得ない事情により博士學位論文の全文をインターネットによる公表ができないため、「論文の要旨」を「論文の要約」として公表することに同意致します。なお、やむを得ない事情が解消された際には、大学へ連絡の上、博士學位論文の全文をインターネット公表することに同意致します。
2-1 ☐ 立体形状による表現を含んでいる
2-2 ☐ 著作権や個人情報情報に係る制約がある
2-3 ☐ 出版刊行、学術ジャーナル掲載、特許の申請などの予定がある
2-4 ☐ その他のやむを得ない事情

2に該当する場合は、以下に事由等を明示すること。

1年以上公表できない事由の詳細	
全文の公表開始日 (未定の場合はその理由)	年 月 日

(※大学使用欄：以下には何も記入しないこと)

学位授与日	年 月 日	特記事項
-------	-------	------

様式 D-18 R-17

東京都市大学大学院 総合理工学研究科長 殿

博士學位論文の公表に関する報告書

インターネット公表を保留にしていた、私が執筆した下記の博士論文の全文について、やむを得ない事由が解消しましたので、インターネット上での公表をお願いします。

学籍番号 (博士後期課程のみ)	学位授与者氏名	印
専攻名	指導教員	
論文題目		
連絡先	〒	
	Tel :	
	E-mail :	

学位授与者情報

提出先
東京都市大学教学課大学院担当

教養課書式

東京都市大学学長 殿

年 月 日

専攻

専攻主任

印

学位論文審査委員会委員長 委嘱願

論文提出者 氏 の、学位論文審査委員会の委員に右記の方を
委嘱したいので、ご配慮お願い申し上げます。

論文審査委員会主査	
論文主 題	

委嘱期間 *1	年 月 日 ～ 年 月 日
審査委員会開催回数	回
審査委員会開催日 *2	
審査委員会1回あたりの拘束時間	時間

*1：委嘱期間は、研究科委員会による審査委員決定後、本用紙ご提出日より1週間以上後からの期間として下さい。(委嘱願提出先大学での処理に時間を要するため)
*2：審査委員会開催日は、上記委嘱期間内として下さい。

【審査員詳細】

氏 名			生年月日	年 月 日 (歳)
本 務 先			職 名	
〒 本務連絡先	〒 ()			
〒 ご自宅連絡先	〒 ()			
委嘱状送付先	審査員のご本務先に委嘱状を送付しますので、先方の学長・学部長など宛て先をご記入下さい。 大学 学部 職 名 氏 名			
略 歴	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
	年 月 ～ 年 月			
順 路	交通方法 (JR、社線、バス等の別を記入)	区 間 (最短経路で記入)		
1 本学までの経路				
2				
3				
4				
審査料等 お振込口座 *3	振込指定銀行名	銀行 信用金庫	支店	
	預 金 種 別	1. 普通 2. 当座 3. 貯蓄 4. その他		
	預金口座番号	店 番 口 座 番 号		
	預金口座名義 (※本人名義)	フリガナ 名義人名		

*3 ・ 外部委嘱者へのお振込みは謝礼 (審査料) 5 万円(税引き後)および交通費 (実費 2 日分) となります。
・ 振込口座の情報は本件に関する振込みに限り使用させていただきます。
・ 本人名義の口座のみ振込み可となります。
・ 飛行機をご利用の際のみ領収書が必要となります。

〇〇〇〇年〇月〇日

大学院総合理工学研究科長

博士論文発表会のご案内

この度、〇〇〇〇氏より学位請求論文の提出がありました。そこで、論文発表会を下記の通り開催致します。ご多忙とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

日 時： 0000年00月00日（00）時～
場 所： 東京都市大学 00号館 00階 00

論文提出者：○○○○○氏

論文題目：○○○○○

同 会 :: 〇〇〇〇 教授

○○○○氏略歴

昭和〇年〇月 〇〇大学工学部〇〇工学科 卒業

昭和〇年〇月 〇〇〇〇〇株式会社 入社

平成〇年〇月 同 〇〇事業所〇〇〇〇開発所属

— 現在に至る

以上

＜注意事項＞

○部分は、必要に応じて書き換えてください。

なお、左上の任意書式・課程博士については、削除してください。

教職員各位

〇〇〇〇年〇月〇日

大学院総合理工学研究科長

博士論文発表会のご案内

この度、〇〇 〇〇氏より学位請求論文の提出がありました。そこで、東京都市大学大学院工学研究科学位論文提出による博士の学位審査取扱規程第10条の2に基づき、論文発表会を下記の通り開催致します。ご多忙中とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

日時：○○○○年○○月○○日(○) ○時～
場所：東京都市大学 ○号館 ○階 ○

論文提出者：○○○○氏

論文題目：○○○○○○○○○○○○○○○○○○

同
△
..
○○
○○
教壇

○○○○氏略歴

昭和〇年〇月 〇〇大学工学部〇〇工学科 卒業

昭和〇年〇月 〇〇〇〇株式会社 入社

平成〇年〇月 同 〇〇事業所〇〇〇〇開発所属

——
現在に至る

以上

＜注意事項＞

赤字○部分は、必要に応じて書き換えてください。

なお、左上の任意書式・課程博士については、削除してください。

(発 行)

東京都世田谷区玉堤 1-28-1

東京都市大学 教学部 教学課

電 話 03-5707-0104(代)

(印 刷)

東京都千代田区三崎町 3-10-17

株式会社 ハクト

電 話 03-6261-3990(代)
